

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	オンラインプラットフォーム活用による広域観光連携推進事業
事業主体 (連絡先)	松本広域連合事務局 福祉・地域課 (0263-87-5461)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	7,044,970円 (うち支援金: 5,000,000円)

事業内容

松本広域観光情報サイト「#まつもトコトコ」を開設し、オンラインにおける観光誘客拠点(プラットフォーム)として広域的に活用する取り組み

- 広域連携の実現し、ポストコロナにおける地域の優位性を確保する取り組み
 - イベント情報登録システムの実装
松本広域観光情報サイト「#まつもトコトコ」にエリア全体のイベント情報を一元化できるユーザー登録型のシステムを実装
- 環境の変化に強い誘客コンテンツを開発する取り組み
 - リアル体験型コンテンツ
自サイトへの誘導やウェブ空間における情報拡散を目的とし、顧客の携帯端末を利用した非接触型のキャンペーンイベントを実施
 - ヴァーチャル体験型コンテンツ
顧客が地域との関係性を築いてもらうきっかけとなる、メッセージ性のあるコンテンツ(ウェブサイト、冊子)を制作・公開

事業効果

- 事業を通じて獲得した、サイトの新規ユーザー数
85,456人(年換算 約136,000人)
- 同ページビュー(PV):
150,349 PV(年換算 約240,000 PV)

※集計期間 2021/9/1-2022/3/18

今回サイトへの集客目的で制作した各種コンテンツは、非旅行・観光ジャンルに属する内容であり、これをウェブにおけるターゲティング広告と組み合わせることによって新規層の捕捉率を高めています。

少なくとも10万人規模の顧客から新たに認知を得られたと考えられることから、十分な事業効果があったものと判断します。

今後の取り組み

今年度の取り組みを通じ、ウェブ空間における新規層からの認知獲得については、ウェブコンテンツを中心とした集客の仕組みを構築し、一定の成果を出すことができたと考えています。

一方で、観光はリアルコンテンツである(=ヴァーチャル空間で完結させない)という認識のもと、次年度以降も事業スキームは継承しつつ、顧客にリアル空間でアクションを起こさせる取り組みを一層重視していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【ウェブコンテンツ例】

信州・松本の地で新しい根を張り、それぞれの道を進むふたりのストーリー(対談企画)



『da・da』 写真家・渡部さとるが撮りおろす、信州で生きる17歳の肖像(写真企画)



【目標・ねらい】

- 観光リピーター候補となる、新規層からの認知獲得
- 「#まつもトコトコ」アクセス数の向上

※自己評価【 A 】

【理由】

サイトグランドオープン1年目の目標値(100,000ユーザー/年)を上回る、136,000ユーザー/年換算(目標対比136%)を達成したため。